

平成 28 年度 大泉名水会 第 2 回 定例会議 議事録

日時 平成 28 年 5 月 8 日(日) 10 時~12 時

場所 東大泉地区区民館 地下会議室1

出席者 委員 13 名 職員 1 名

議題

1. 送水ポンプ感知器(圧力タンク)は 16 年が経過摩耗の為交換する。費用約 15 万円
2. 逆洗工程調整、現在週 3 回(月木土)を毎日に変更する。これによって弁天池への流量が増加する。費用約 59,400 円
3. 名水会の現状・将来などについて(各委員からの意見)
 - 事務所の設備の維持・修理費について予算としてしっかり計上した方が良い。
 - サポート隊について、規約を改正する案を来年の総会までには決める。
 - 災害が起きた時には行政などに頼っても良いのではないか。
 - 今後、委員会は何をしていったら良いのか。議題を提案しサポート隊へ。
 - お金の問題が一番問題。出所、使い方など。
 - 水温の問題。夏は大通りの方は特に水温が高い。供給量を増やしたい。
 - 委員会がサポート隊を上手く生かせるようになれば良い。例えば問題を提起してサポート隊に検討してもらおう。
 - 名水会の成り立ちや歴史について昨年度までの資料をもとに委員に説明する。
 - 機械の 4 分の 1 程度しか機能していない。供給量を増やしたい。
4. その他
 - (1)サポート隊提案事項(今後の取り組み等、第 1 回から第 3 回まで)を取り纏め、対応策について、委員長が説明した。主たる事項は次の通り
 - (ア)年間行事を設定する。
 - (イ)水の供給量を図る。
 - (ウ)災害時の水の供給を確保する為汲み上げポンプを購入する。
 - (エ)看板での周知を継続する。
 - (オ)宣伝・話題性を考慮しての試みとして、維持分担金の定額制移行を考える。
 - (カ)配管改修工事(40年~60年)に伴う資金繰りについては、今現在できることを重点に運営して行く。将来の資金繰りについては継続検討のこととする。
 - (キ)災害時での事務所への対応として、発電機の操作・給水ポンプ稼働のための訓練等を検討する。
 - (ク)事務所の外付け蛇口の給水は継続する。

(2)入退会と未収について

新規入会者	1名
退会者	1名
未収者	6名
配管未撤去	1名

『大泉名水会事務所』

ホームページ

電話・FAX

03-3922-5460

[大泉名水会](#)